

令和5年1月23日	
所属	生活安全課
所属長	木下 禎章
電話	06-6489-6502

自転車盗難対策を緊急実施！
～尼崎では1台たりとも盗ませません～

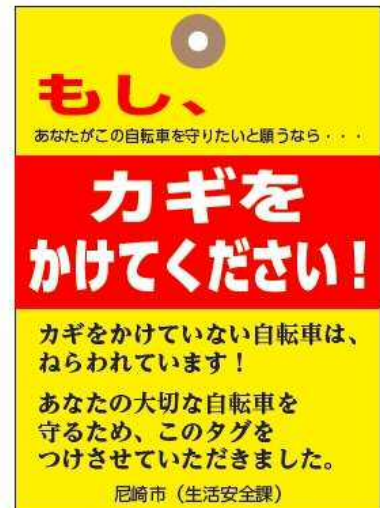
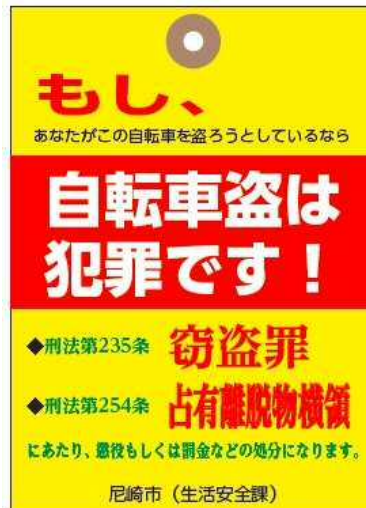
1 趣旨

令和4年はコロナウイルス感染防止の行動制限が緩和される中、街中での人の往来が活発化したことに比例し、全国的に自転車盗認知件数が増加しています。本市では令和3年に過去最少件数の1,004件まで減少しましたが、全国の動向と同様に、令和4年は2年前の令和2年と同水準の件数まで増える見込みです。このため、データ分析に基づき時間帯・対象地域等を絞り込んだ上で自転車盗対策を緊急実施し、1,000件以下の達成を目指します。

2 自転車盗対策

(1) メッセージタグ

自転車盗が発生しないように、駐輪場等で直接メッセージを伝える手段として自転車に括り付けるタグを作成しました。これは、両面にそれぞれ自転車盗犯に向けたメッセージと自転車所有者に向けたメッセージが記載されています。自転車盗犯へは、自転車盗は一般的に犯罪意識が薄く、甘く考えがちですが、出来心では済まされず、懲役刑等が科さ



れる刑法犯罪（窃盗罪や占有離脱物横領罪）であることを明確に伝えます。自転車所有者に対しては、未施錠での駐輪は盗難リスクが高く、自宅であっても施錠を徹底する必要があることを伝えます。

また、市職員が18時～20時に夜間巡回啓発をする際に、「自転車盗警戒パトロール中」と周りからも目立つビブスを着用し、声かけをしながら、未施錠など自転車盗リスクの高い自転車にこのメッセージタグを括り付け、自転車盗難の抑止を図ります。

（当面は自転車盗の多いJR立花駅・阪急武庫之荘駅・阪急塚口駅で実施）

(2) 防犯カメラの設置

防犯カメラは一般的に窃盗の抑止効果が高いと言われており、従前の課題であったひたたくり防止対策用の市可動式防犯カメラの一部を活用し、駅周辺の自転車盗多発地域に防犯カメラを設置し盗難抑止を図ります。

(3) 広報車による防犯パトロール

自転車盗の発生場所と発生時間を分析した結果、駅周辺の住宅で16時～20時に盗まれやすいことから、広報車による音声パトロールを実施します。

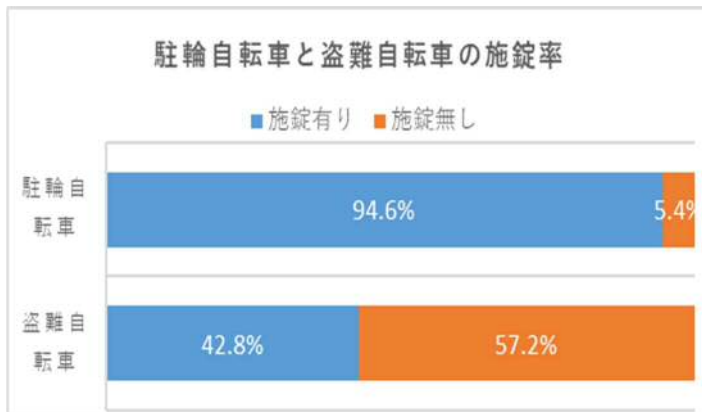
【参考資料】

(1) 尼崎市の自転車盗認知件数の推移



出典：兵庫県オープンデータカタログ
「犯罪発生状況（窃盗・自転車盗）」

(2) 駐輪自転車と盗難自転車の施錠率



出典：駐輪自転車施錠率：市内駐輪の9,586台を調査
盗難自転車施錠率：兵庫県オープンデータカタログ「R3犯罪発生状況（窃盗・自転車盗）」